

平成29年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位:百万円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差額 (決算-予算) | 備考 |
|-------------------------|-------|-------|---------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 2,423 | 2,439 | 16 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 84 | 283 | 199 | (注2) |
| 船舶建造費補助金 | — | — | — | |
| 補助金等収入 | 6 | 6 | 0 | |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費 交付金 | 15 | 15 | 0 | |
| 自己収入 | 402 | 388 | △14 | |
| 授業料、入学料及び検定料収入 | 227 | 217 | △10 | (注3) |
| 附属診療所収入 | 118 | 121 | 3 | (注4) |
| 財産処分収入 | — | — | — | |
| 雑収入 | 57 | 50 | △7 | (注5) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金 収入等 | 33 | 43 | 10 | (注6) |
| 引当金取崩 | — | 2 | 2 | (注7) |
| 長期借入金収入 | — | — | — | |
| 貸付回収金 | — | — | — | |
| 目的積立金取崩 | 15 | 12 | △3 | (注8) |
| 計 | 2,978 | 3,188 | 210 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 2,839 | 2,797 | △42 | |
| 教育研究経費 | 2,644 | 2,581 | △63 | |
| 診療経費 | 195 | 216 | 21 | (注9) |
| 施設整備費 | 99 | 213 | 114 | (注10) |
| 船舶建造費 | — | — | — | |
| 補助金等 | 6 | 6 | 0 | |
| 産学連携等研究経費及び寄附金 事業費等 | 33 | 35 | 2 | (注11) |
| 貸付金 | — | — | — | |
| 長期借入金償還金 | 1 | 1 | 0 | |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費 納付金 | — | — | — | |
| 計 | 2,978 | 3,052 | 74 | |
| 収入-支出 | — | 136 | 136 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因運営費交付金のうち前年度から繰り越した年俸制導入促進費、退職手当額により、予算額に比して16百万円増となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では平成28年度竣工予定だった総合研究棟が、当年度に竣工が延期になったことによる補助金の繰越により、予算額に比して199百万円増となっています。
- (注3) 自己収入のうち授業料、入学料及び検定料収入については、受験者数、入学者数ともに減となったため、予算額に比して10百万円の収入減となっています。
- (注4) 自己収入のうち附属診療所収入については、患者数の当初の見込みに対し2.5%増加したことにより、予算額に比して3百万円増となっています。
- (注5) 雑収入については、科学研究費補助金の間接経費収入が、当初の見込みに対し減少したことにより、予算額に比して7百万円減となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、当初の見込み以上の受託事業収入があったことにより、予算額に比して10百万円増となっています。
- (注7) 引当金取崩については、自己財源で退職金を手当とする承継枠外職員が1名退職したことによる退職給付引当金の取り崩しにより、予算額に比して2百万円の増となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、新設の総合研究棟関連の支出に充てておりますが、竣工に当たり実際に執行した額により、予算額に比して3百万円減となっています。
- (注9) 業務費のうち診療経費は、主として附属病院収入の増加に伴い、予算額に比して21百万円の増となっています。
- (注10) 施設整備費補助金については、(注2)で示した理由及び、当年度新規に配分された施設整備費補助金の翌年度への繰越により執行額減の差引により、予算額に比して114百万円増となっています。
- (注11) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、(注6)に示した理由及び、当初見込みより寄附金執行額が減少した差引により、予算額に比して2百万円の増となっています。